



2014~2015年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/滝下 勲 幹事/伊藤正幸 会報委員会/河本圭史・大場 篤

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: 和の心と・地元へ奉仕を

本年度第36回 通算1382回 平成27年3月31日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/17 修正出席率
		59名	32名	64%	91.8%

ゲスト:(なし) ビジター:彦坂育甫さん(渥美RC)

★会長あいさつ

滝下 勲会長



こんにちは。本年度から豊川サッカー協会主催の豊川サッカー選手権に協賛することになりました。その表彰式が先週3月27

日に豊川市文化会館で行われ、大木副会長に出席をしてもらいました。

暖かい日が続いています。昨日、嫁さんと市役所の裏の桜トンネルに出掛けて来ました。桜を見ながら焼き鳥とワンカップを飲んで、ああ春だなあって感じて来ました。今週は天気が良くないので桜が心配です。聞くところによると、今週の土日は、牛久保のうなこうじ祭りだそうです。うなこうじ祭りというところが多いと記憶しています。

豊橋工業高校の甲子園初出場は、ご存知のように初戦敗退でした。当日は、卒業生の伊藤幹事が甲子園まで出かけて応援をしています。テレビで観るのと、実際に応援に行くのとでは、ちょっと違うのだそうです。

★幹事報告

伊藤正幸幹事

甲子園での高校野球応援の感想
次回夜間例会について
米山梅吉会館の冊子の回覧

★委員会報告

次期ガバナー補佐のあいさつ
雑誌広報委員会(来山委員長)
ロータリーの友3月号の紹介

★東三河分区IM報告

土井昌司会員



3月22日に行われた東三河分区IMの報告をします。会場はホテルアークリッシュ豊橋で、ホストクラブが新城RCで、テーマは「残そう!未来に自然を」でした。

講演会は、新城市出身の元JALのパイロットの小林宏之さんです。

健康管理と危機管理の考え方は、全く同じであると言われていました。彼はパイロットの時に一度も休んだこともなく、ミッションを延期したことはないそうです。過去の日本政府のチャーターする飛行機のパイロットもされた優秀な方だそうです。

彼の考え方は、トップの危機管理は、まず自分自身の健康管理であるということです。飛行機をコントロールする前に、まず自己をコントロールできるかが必要だそうです。

彼の考え方は、トップの危機管理は、まず自分自身の健康管理であるということです。飛行機をコントロールする前に、まず自己をコントロールできるかが必要だそうです。

山本博史会員



東三河分区IMの報告をさせていただきます。

大会が始まる前に昼食がありまして、中華料理を美味しく頂きました。

12時45分から式典が始まりました。新城RCの星野会長の挨拶があり、中島ガバナー補佐の挨拶、そして彦坂次年度ガバナー補佐のご挨拶がありました。

13時半から、新城市出身、元JALのパイロットで、現在は航空評論家としてご活躍の小林宏之さんの「大空から学んだこと」と題して講演会が行われました。

内容は5つの項目で話が進みました。

「高度一万メートルから見たかけがえのない地球」特に人間が傲慢なことをし続けられない限り地球には回復力があるということです。汚染や破壊があったとしても平和な世界になれば、必ず復元されるそうです。

「健康管理と危機管理は同じ考え方・取り組み方にある」健康管理は、予防、治療、回復、再発防止である。そして危機管理は、未然防止、被害局限対応、回復、再発防止である。トップの危機管理は、まず自分自身の健康管理からということです。

「トップの健康管理の原則5か条」①食事、何でも美味しく、バランスよく、良く噛んで食べる。②運動、人間も動物、動くことが大切。③睡眠、早寝早起きを心がける。④ストレスコントロール、不平・不満はストレスを溜め、感謝・感激・感動はストレスを昇華する。⑤健康診断の活用・身体の手入れです。

「トップの危機管理の原則5か条」①危機管理とリーダーシップ ②危機管理と心構え ③危機管理の対応 ④危機管理の要諦 ⑤危機管理と情報です。

先日起こった副操縦士の精神疾患による墜落事故は、まさに心身の健康管理、危機管理を怠ったために起きてしまった結果だと思えます。

危機管理の原則について印象に残っているのが、天井の法則です。それは、トップのリーダーシップの成長が止まれば、天井に行き詰まり、組織はそこから伸びなくなってしまうそうです。トップは常にリーダーシップを磨き、天井を高くして行くことが課せられた任務であります。

これ以上詳しいことは、北野たけしさんと小林さんの対談が、BSフジで5月7日、5月21日に放映されるそうです。興味のある方は、そちらをご覧ください。

最後に「年齢も自分で決める」体力・知力の老化は誰でも気づくが感情の老化は気付けない。ワクワク・ドキドキする活動、感動す

る生活を心がけるそうです。いつだった今が旬の気持ちで自分の年齢は自分で決めるのだそうです。



松林秀佳会員

こんにちは。新米ロータリアンから見たIMについて報告します。

IMに参加する前に新城RCの友人からIMに来るようにと話がありました。東三河のロータリアンが集まるインターシティ・ミーティングだと教えてもらいました。

ロータリーに入会して半年も経っていないので、東三河にこんなに多くのクラブがあることを初めて知りました。そしてガバナー補佐という名前も良く分からず、細かい事を周りの人に質問しながら、勉強しながらの1日でした。最後に、ロータリーソング「手に手つないで」を生れて初めて体験をしました。10年前はJCで肩をくんで歌った覚えはありますが、手を繋いで輪になって歌うという事を初めて経験させて頂きました。

講演会で元JALのパイロットの小林さんのお話を聞きました。すごく感銘を受けました。小林さんの話の中で、以前は操縦室に機長の判断で乗客を招き入れることが出来たそうです。アメリカの同時多発テロのあと、それが一切できなくなったということです。実は1995年ぐらいに、操縦室に入れてもらったことがあります。私もモノづくり屋ですから、どのようにリスクを無くして失敗しないように作るかの勉強をしています。そういう目で操縦室を見たところ、見事に危機管理の対応がされていると思いました。例えば、翼を動かすレバーは、翼の形をしているのです。間違っても他を動かすことはありません。タイヤを出すためのレバーは、タイヤの形をしているのです。非常に危機管理の最先端を行っているのが飛行機だろうと思いました。

私が小学校1年生の時に、文集の将来の夢に「パイロットになって、大空を自由に飛びたい。雲の上を飛んだら、どんなに楽しいだろうか」という事を書いた記録が残っております。当時、私はそんなことを考えていたのだと思います。



浅野 晋会員

IMの報告をさせていただきます。昨年に引き続き、今年もIMに出席をさせていただきました。内容は、

先輩方が報告して頂いた通りでございます。

IM当日の様子



★ニコニコボックス

彦坂育甫さん メーキャップさせて頂き
夏目雅康会員 結婚記念日を祝って頂き

★TASC活動の報告

3月29日に穂の国ハーフマラソンが豊橋で行われました。

TASCは、今年も沿道からランナーの皆さんを応援しました。今年も雨の降る中での応援でした。ランナーの皆さんとハイタッチをしながらの応援が出来ました。



雨の中、応援のお手伝いに出下さった皆さん、ランナーとして走られた皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。



会報担当：河本圭史会員・大場 篤会員